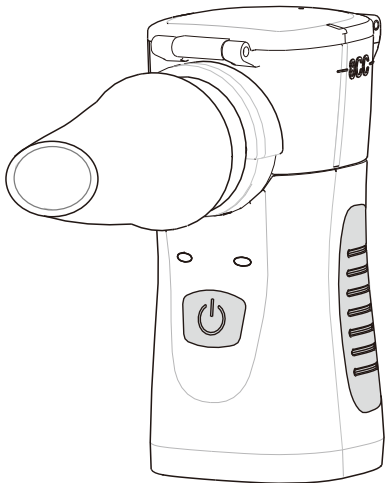




取扱説明書

このたびは当社のネブラーゼ ミニをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保管してください。

＜保証書欄＞

保 証 書		株式会社 カスタム
保 証 規 定		
本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。		
1.保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は無償で修理いたします。		
2.本保証書は、日本国内でのみ有効です。		
3.下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。		
a 不適当な取扱い、使用による故障		
b 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障		
c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障		
d その他当社の責任とみなされない故障		
e 消耗部品(薬液ボトル、マウスピース、シリコンマスク、接続パイプ、薬液ボトルキャップ)		
(初期不良時のみ交換)		
型番	NEB-01	シリアルNo.
保証期間	年	月
より1ヵ年		
お客様	お名前	様
	ご住所	
	電話番号	
販売店	住所・店名	
販売店様へ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。		

株式会社 カスタム

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-6-12
TEL:03(3255)1117 FAX:03(3255)1137
<http://www.kk-custom.co.jp/>

安全にご使用いただくために

本器をご使用になる前に安全上のご注意と取扱説明書をよくお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

	警告
	注意

- 指定の方法、条件以外での使用は絶対に行わない。本器を破損したり重大事故を引き起こしたりする恐れがあります。これらに起因する損害について製造販売業者はその責任を負いません。
- 故障が疑われる場合は使用しないでください。
- 使用前に亀裂、破損等の異常がないかを充分確認し、本器の使用中に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。
- 薬液の種類、用量、用法については必ず医師の指導に従ってください。症状が悪化する恐れがあります。
- 使用中に気分が悪くなった場合はすぐに使用を中止してください。症状悪化の原因になります。
- マウスピース、シリコンマスクを使用中に発疹が生じた場合には、すぐに使用を中止し、医師の指示に従ってください。
- 本器を取り扱う際には手指の衛生を実施してください。雑菌等により、感染する恐れがあります。
- お使いになる前は、薬液ボトル、マウスピース、シリコンマスク、接続パイプ、薬液ボトルキャップを洗浄、消毒してください。雑菌等により、感染する恐れがあります。
- 使用後は、薬液ボトル、マウスピース、シリコンマスク、接続パイプ、薬液ボトルキャップを洗浄、消毒してください。洗浄、消毒したパーツは、必ずすみやかに乾燥させた上、再汚染がないように保管してください。雑菌が繁殖し、感染する恐れがあります。
- 複数の人が使用する場合は、必ず使用する人ごとに薬液ボトル、マウスピース、シリコンマスク、接続パイプ、薬液ボトルキャップをご使用ください。共用すると感染の恐れがあります。
- シリコンマスク使用中は患者の状態や接続状態を常に監視してシリコンマスクの異常、外れや閉塞等の危険がないことを確認してください。死亡事故や重傷事故を招く恐れがあります。
- マウスピース、シリコンマスク、接続パイプは折り曲げたり、ねじったりしないでください。破損や閉塞の原因となります。
- 幼児やお子様だけで使用させないでください。マウスピース、シリコンマスクにより閉塞感が誘発されて死亡事故や重傷事故につながる恐れがあります。また本器を破損したり、けがの原因となります。
- 自動呼吸装置を本器に接続しないでください。自動呼吸装置からの圧力等により、自動呼吸装置がエラーとなる恐れがあります。また、人工呼吸器（麻酔器に組み込まれたものを含む）の呼吸回路呼吸器側にフィルターを装着して本器を使用すると、フィルターが目詰まりをおこして患者が呼吸困難をおこす可能性があります。
- 純水や蒸留水などを用いて吸入はしないでください。症状が悪化する恐れがあります。
- 幼児やお子様の手の届くところに置かないでください。本器を破損したり、けがの原因となります。また薬液ボトルキャップ、マウスピースや電池など小さな部品を飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。
- ACアダプタを、濡れた手でコンセントに抜き差ししないでください。感電ややけどをする恐れがあります。
- 本体や薬液ボトル、ACアダプタを水やお湯などで丸洗ひしたり、水に浸したりしないでください。漏電、感電する恐れがあります。故障により使用ができなくなる恐れがあります。

注意

- 本器の分解、改造は行わないでください。修理が必要な場合は、購入された販売店にお問い合わせください。これらに起因する損害について製造販売業者はその責任を負いません。
- 本器を加熱したり火中に投入しないでください。破裂による火災、怪我の恐れがあります。
- 危険物、発火物、爆発の恐れがある場所では使用しないでください。重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 本器を濡れた手で扱ったり、水で濡らさないでください。感電の恐れがあります。
- 電池の液が目に入ったときは失明などの恐れがあるので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
- 電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしないでください。
- 電池のプラス、マイナスを逆に使用しないでください。
- 付属の電池を充電しないでください。充電すると液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
- 電池のプラス、マイナスを針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管をしないでください。
- 本器が濡れている時や湿気の多い場所では絶対に使用や電池交換をしないでください。また濡れた手で電池交換をしないでください。感電の危険があります。
- 本器やACアダプタに薬液をこぼさないようにしてください。こぼした場合は、すみやかに柔らかい布などで拭き取ってください。濡れたまま使用すると故障や感電の原因となります。
- 本体や薬液ボトルを落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。破損し、使用できなくなったり、感電の原因となります。

1. 特長

- 薬液ボトルに薬液を入れ、ボタンを押すだけで簡単に使用できます。
- 本体内部の発振回路により発生した超音波信号が薬液ボトル内部にある振動子(メッシュ)を機械的に振動させます。この機械的振動により、薬液が霧状になり薬液ボトルから外部に噴霧され、患者に供給されます。
- シリコンマスク(大人用、小児用)、マウスピースにより、自分に合った使い方が選択できます。

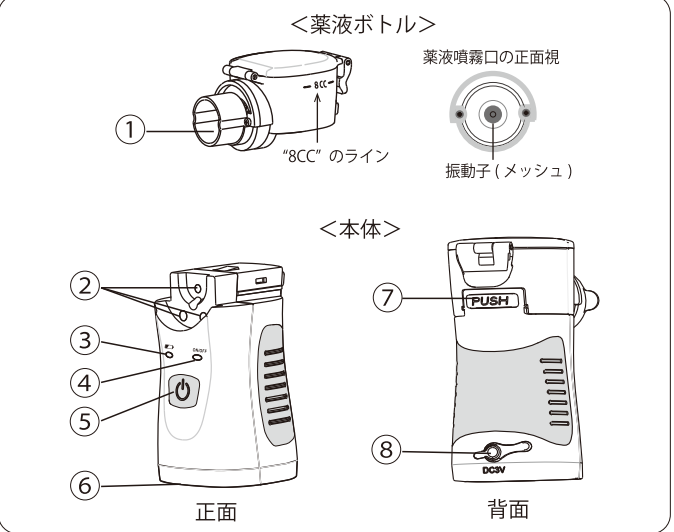
2.仕様

項 目	仕 様
噴霧方式	メッシュ式
超音波発振周波数	約 117 kHz
噴霧粒子径	MMAD(空気力学的質量中央径) 約 5 μm 以下
噴霧能力	0.2 ml / 分以上 ※1
噴霧モード	連続
薬液ボトル容量	最大 8 ml
電源	単 3 形乾電池 × 2 個 ※2 専用 AC アダプタ : STD-03020U2 (別売)
消費電力	約 2 W
寸法	約 45 (幅) × 95 (高さ) × 72 (奥行き) mm
重量	約 90g (電池含まず)
シリコンマスク寸法	大人用 : 約 137 (縦) × 106 (幅) mm 小児用 : 約 96 (縦) × 91 (幅) mm
保管温湿度	+10℃ ～ +70℃、85%RH 以下、結露ないこと
電撃に対する保護の形式	単 3 形乾電池 2 個使用時 : 内部電源機器 専用 AC アダプタ使用時 : クラス II 機器
電撃に対する保護の程度	B F 形装着部
防水耐性	IP22
付属品 ※3	シリコンマスク (大人用、小児用)、接続パイプ × 2、マウスピース、単 3 形乾電池 × 2 個、収納ケース、携帯用ポーチ、取扱説明書、添付文書

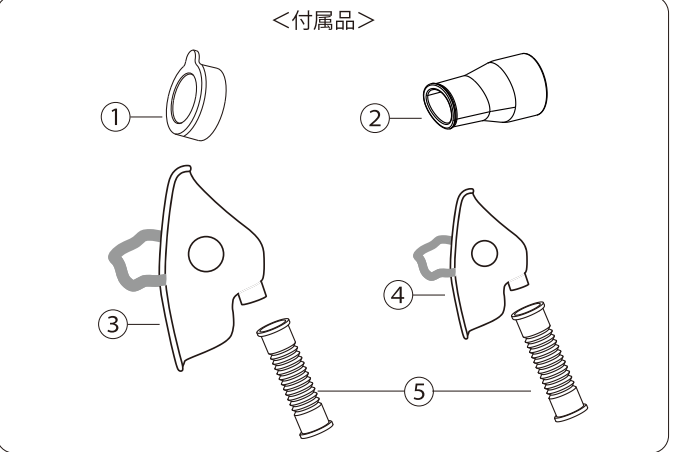
本器の仕様および外観は、改良の為予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

- ※1 常温23℃において、生理食塩水を噴霧した場合の自社試験の結果です。
- ※2 本器に付属の電池は試供品です。市販の通常の電池よりも電池寿命が短いことがあります。新品の単 3 形アルカリ乾電池を使った場合、一般的に1日20分噴霧しておよそ4日間使用できます。(薬液の種類、使用環境、呼吸状態等により変化します。)
- ※3 各種消耗品を用意しております。詳しくは弊社HPをご覧ください。<https://www.nurse-angie.jp/medical/products/NEB-01.html>

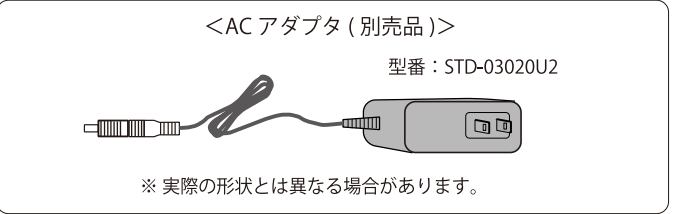
3.各部の名称



No.	各部の名称	機 能
①	薬液噴霧口	薬液を噴霧する部位。 マウスピースや接続パイプを取り付ける
②	電極	本体と薬液ボトルを接続する端子
③	ローバッテリー表示 LED	電池残量が低下した時に点灯
④	電源 LED	電源を入れた時に点灯
⑤	電源ボタン	電源を入 / 切するボタン
⑥	電池蓋 (底部)	電池収納部のカバー
⑦	薬液ボトル取り外しボタン	薬液ボトル取り外し時、押す
⑧	外部電源端子	AC アダプタを接続する端子



No.	名称	機 能
①	薬液ボトルキャップ	薬液噴霧口の保護
②	マウスピース	薬液を喉に噴霧する
③	シリコンマスク (大人用)	薬液を鼻と喉に噴霧する (大人用)
④	シリコンマスク (小児用)	薬液を鼻と喉に噴霧する (小児用)
⑤	接続パイプ × 2	マスクと薬液ボトルを接続する

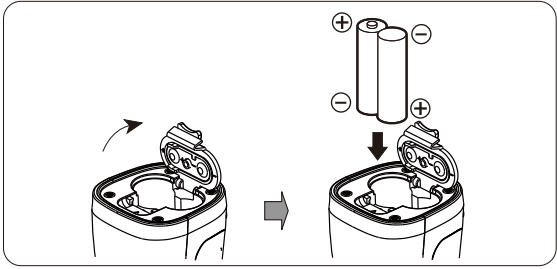


開梱したらすぐにキズや変色など外観上の異常や付属品に欠品がないことを確認してください。
万一、不具合がありましたら購入された販売店までご連絡ください。

4.準備 <電池を使用する場合>

4-1. 電池の装着および交換 【図-1】

- (1) 本体の底面にあるくぼみ部に指をかけ、矢印▼の方向に押しながら上に引くと電池蓋が開きます。
- (2) 古い電池が装着されている場合は取り出してください。
- (3) 新品の単3形乾電池を2個（アルカリ電池推奨）極性（+/-）を確認して挿入します。
- (4) 電池蓋を元に戻し、パチンと音がするまで押して閉めてください。



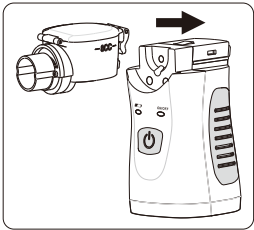
【図-1】

<注意>

- ・電池残量不足を示す”ローバッテリー表示LED”（オレンジ）が点滅したら電池を交換してください。
- ・使い切った電池はすぐに本器から取り出し、新しい電池と交換してください。
- ・種類の違う電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。指定されている電池以外は使用しないでください。
- ・電池を交換する際は、必ず電源を切ってから行ってください。
- ・電池交換後は必ず電池蓋を閉じてから使用してください。
- ・長期間使用しない場合には、本器から電池を取り出してください。

4-2. 薬液ボトルの取り付け

- (1) 薬液ボトルの蓋がしっかりと閉まっていることを確認してください。
- (2) 薬液ボトルを本体に正面から背面方向に向けてスライドさせ、まっすぐに取り付けてください。【図-2】
- (3) “カチッ”と音がして固定されるまでしっかり押し込んでください。



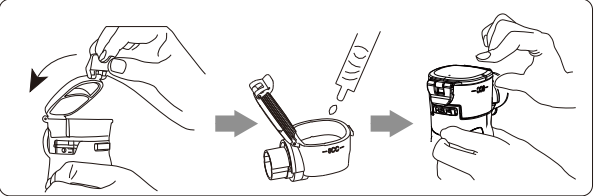
【図-2】

<注意>

- ・ご購入時など、既に薬液ボトルが本体に取り付いている場合があります。
- ・ご購入後初めてお使いになる時や、長時間ご使用にならなかった時は薬液ボトルを洗浄、消毒してください。
- ・取付け前に本体および薬液ボトルの電極部が汚れていないことを確認してください。
- 汚れている場合は医療用ガーゼを使い汚れをふき取ってください。
- ・薬液ボトルが本体に正しく取り付けいていないと正常に動作しません。

4-3. 薬液の注入 【図-3】

- (1) 薬液ボトルの背面にあるロックを外し蓋を開けます。
- (2) 薬液ボトルに薬液を入れます。
薬液ボトルに注入できる薬液の量は最大約8ml、最小約0.5mlです。薬液ボトルに刻印されている”8CC”の線より上まで薬液を入れないでください。
- (3) 薬液ボトル部の蓋を閉め、ロックをします。（カチッと音がします。）必ず蓋がロックされていることを確認してください。
蓋がロックされていないと薬液が漏れます。



【図-3】

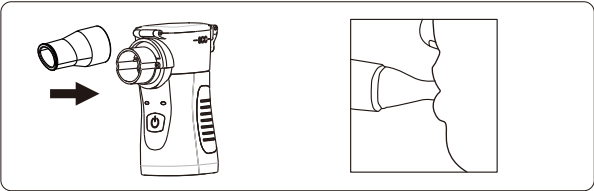
<注意>

- ・薬液の種類、容量、用法については必ず医師の指導に従ってください。
- ・薬液によっては振動子（メッシュ）の目詰まりを起こしやすいものや、噴霧時間が長くなるものがあります。
- ・高粘度や揮発性の薬剤を使用しないでください。
- 振動子（メッシュ）の寿命が短くなります。
- ・薬液ボトル内に薬液や蒸留水を入れたまま放置したり、携帯しないでください。

4-4. マウスピース、シリコンマスクの取り付け

薬液を喉に噴霧する場合は マウスピースを使用します。【図-4】

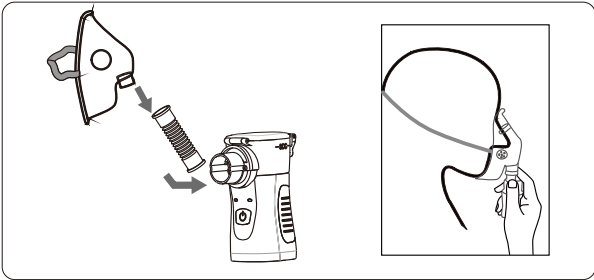
- (1) 薬液噴霧口の薬液ボトルキャップを外します。
- (2) マウスピースを薬液噴霧口に奥まで挿し込んで取付けてください。
- (3) 本体を手に持ち、マウスピースを口にくわえ、軽く唇を閉じてください。



【図-4】

薬液を鼻と喉に噴霧する場合は シリコンマスクを使用します。【図-5】

- (1) 薬液噴霧口の薬液ボトルキャップを外します。
- (2) 患者に適したサイズのシリコンマスクを選択し、シリコンマスクに接続パイプをしっかりと取付けます。
- (3) 接続パイプの反対側を薬液噴霧口に奥まで挿し込んで取付けてください。
- (4) シリコンマスクを患者の口と鼻を覆うように密着させ、ストラップを後頭部にかけて固定します。



【図-5】

<注意>

ご購入後初めてご使用になる時や、長時間ご使用にならなかった時はマウスピース、シリコンマスク、接続パイプを洗浄、消毒してください。

5.準備 <専用ACアダプタ(別売品)を使用する場合>

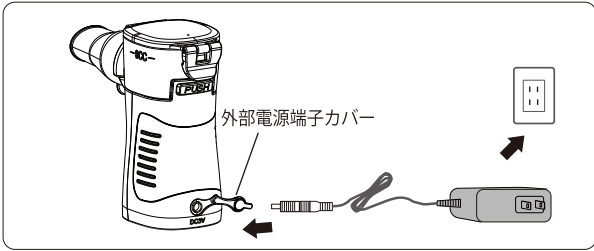
5-1. 薬液ボトルの取り付け (4-2. 参照)

5-2. 薬液の注入 (4-3. 参照)

5-3. 専用 AC アダプタの装着 【図-6】

- (1) 本体の背面下部にある”外部電源端子カバー”を開きます。
- (2) ACアダプタのDCプラグを外部電源端子に奥までしっかり挿し込んでください。
- (3) ACアダプタのACプラグを100Vのコンセントに挿し込んでください。

5-4. マウスピース、シリコンマスクの取り付け (4-4. 参照)



【図-6】

<注意>

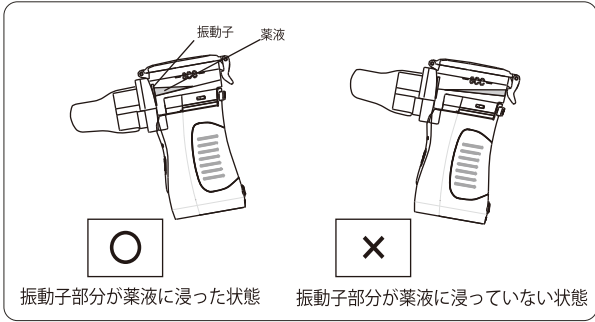
- ・ACアダプタを使用する際は、電池を取り外してください。ACアダプタで電池を充電することはできません。
- ・指定のACアダプタ以外は使用しないでください。
- ・ACアダプタは必ずAC100Vで使用してください。また、タコ足配線はしないでください。 火災や漏電、感電の原因となります。
- ・ACアダプタの電源プラグを抜き差しする時は、必ず電源プラグを持って行ってください。
- ・長期間ご使用にならない時は、必ずACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。

6. 吸入のしかた

- (1) 電源ボタンを押すと電源LED（緑色）が点灯し、薬液が噴霧されます。
- (2) 本体を手に持ち、楽な姿勢で吸入してください。
- (3) 薬液がなくなったら自動的に電源が切れます。
噴霧を途中で中止する場合は電源ボタンを押して電源を切ってください。ACアダプタを使用している時は、使用後に電源プラグをコンセントから抜いてください。

<注意>

- ・本体を薬液ボトル内部にある振動子（メッシュ）部分が薬液に浸るよう
- に保持してください。振動子部分が薬液に浸っていないと噴霧出来ず、自動的に電源が切れます。
- ・薬液が少なくなって来たら本体の電源ボタン側を手前にして少し傾け、振動子部分が薬液に浸るよう保持してください。【図-7】
- ・吸入時以外は本体を傾けないでください。薬液がこぼれる原因になります。



【図-7】

<注意>

- ・薬液が入っていない状態で電源を入れると緑色のLEDが点灯し、約1秒後に電源が切れます。
- ・薬液の代わりに純水や蒸留水などを用いて吸入はしないでください。
- ・本器は噴霧開始1秒後に0.5秒中断し、その後噴霧を行います。
- ・マウスピースは正しい姿勢で使用し、薬液が舌に噴霧されないようにご注意ください。
- ・安静でリラックスした状態で吸入してください。姿勢が悪いと呼吸が不安定になり気道の閉塞の可能性があります。
- ・噴霧された薬液が気道深くに吸入されるよう、長時間安定してゆっくり呼吸してください。
- ・ご使用中に本器を振動させないように注意してください。
- ・使用環境によりマウスピースやマスクに水滴がつく場合がありますが故障ではありません。
- ・ご使用中に噴霧が弱い時は振動子（メッシュ）の表面に水滴がないか確認してください。もしあった場合は一度電源を切り、約3～5秒間セルフクリーニング*を実行し、水滴が消えたことを確認してください。（ご使用中の薬液のまま実行できます。）

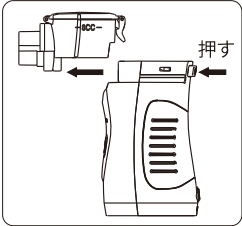
<セルフクリーニング>

電源が切れた状態で電源ボタンを押し続けてください。
押している間、青色LEDが点灯しセルフクリーニングモードになります。

7. 洗浄

吸入が終わったら薬液ボトルの洗浄を行ってください。
本器を介しての感染症を予防するために、本器を常に清潔に保ってください。

- (1) マウスピース、またはシリコンマスクと接続パイプを取り付けた時と逆の順序で取り外して下さい。
- (2) 薬液が残っている場合は、薬液ボトルの蓋を開け、残った薬液を捨ててください。
- (3) 薬液ボトルの振動子（メッシュ）部分を洗浄するため、薬液ボトルに蒸留水を少量入れ、セルフクリーニングモードで約30秒～2分間噴霧してください。（噴霧する蒸留水は吸入しないでください。）水道水は使用しないでください。
洗浄が終わったら残った蒸留水を捨ててください。
- (4) 薬液ボトルを取り外します。【図-8】
本体背部の薬液ボトル取り外しボタンを押しながら薬液ボトルを正面側に押し出し外します。この時、薬液ボトル部のふたを閉め、ロック状態にしてください。



【図-8】

- (5) 薬液ボトル内部を蒸留水で良くすすぎ、医療用ガーゼで水分を拭き取った後、乾燥させてください。
- (6) 本体や薬液ボトルの表面が汚れた場合は、水または中性洗剤を浸み込ませた柔らかい布を固く絞って拭き取った後、柔らかい布で乾拭きしてください。
- (7) マウスピース、シリコンマスク、薬液ボトルキャップ、接続パイプは蒸留水でいいに洗浄してください。
- (8) 洗浄が終わったら、ただちに医療用ガーゼで拭いて乾燥させてください。
- (8) 洗浄、乾燥後は本体、薬液ボトル（薬液噴霧口に薬液ボトルキャップをつける）及び付属品を収納ケースに入れて水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿、ホコリを避けて清潔な状態で保管してください。

<注意>

- ・薬液使用後は必ず洗浄を行ってください。
- 振動子（メッシュ）の目詰まりの原因になります。
- ・本体は洗浄しないでください。
- ・薬液ボトル、マウスピース、シリコンマスク、接続パイプ、薬液ボトルキャップを洗浄する際は、薬液を使用しないでください。
- 故障や破損の原因となります。
- ・薬液ボトル内をティッシュなどで拭かないでください。
- ・各部品の洗浄、消毒後は十分に乾燥させてから組み立ててください。
- ・本体や薬液ボトル、マウスピース、シリコンマスク、接続パイプ、薬液ボトルキャップは電子レンジ内で乾燥したり、煮沸しないでください。
- ・マウスピース、シリコンマスク、接続パイプは以下の場合には新品と交換してください。
- ①目薬などの薬剤や、毛染剤、化粧品その他の色落ちする物との接触により、変色してしまった場合。
- ②長期間の使用や洗浄、消毒または、油性薬剤などの付着により、変質もしくは硬くなってしまった場合。

8. 消毒

- (1) 薬液ボトルキャップ、マウスピース、シリコンマスク、接続パイプを蒸留白酢と熱湯を1:3の割合で混ぜた溶液に約1時間浸した後、蒸留水ですすぎ、乾いた医療用ガーゼで拭いて乾燥させてください。
- (2) 薬液ボトルは蒸留白酢と熱湯を1:3の割合で混ぜた溶液に約10分間浸した後、蒸留水ですすぎ、乾いた医療用ガーゼで拭いて乾燥させてください。

<注意>

- ・本体、薬液ボトル、マウスピース、シリコンマスク、接続パイプ、薬液ボトルキャップ、ACアダプタ、収納ケースは煮沸消毒できません。
- ・消毒効果を高めるために、消毒の前に部品をよく洗浄して汚れを除去してください。タンパク質や粘液などが付着したままだと、殺菌効果が妨げられることがあります。
- ・薬液ボトル内の振動子（メッシュ）部分は綿棒で触ったり、鋭利な物で突いたりしないでください。

9.トラブルシューティング

	現 象 / 原 因	対 応
1. 噴霧力が弱い		
振動子（メッシュ）の表面に水シミがある メッシュの目詰まり	ローバッテリー表示LEDが点灯 / 点滅	新しい電池に交換する
		セルフクリーニングを行う
		薬液ボトルを交換する （薬液ボトルは消耗品です）
2. 電源LEDが点灯せず、動作しない		
電池の極性が間違っている 電池の残量が低下している ACアダプタが正しく装着されていない 薬液ボトルが正しく装着されていない ※		電池を正しく入れる
		新しい電池に交換する
		本体に正しく接続する コンセントに差さっているか確認
		”カチッ”と音がして固定されているか確認
3. 電源LEDは点灯するが、動作せず		
薬液ボトルが汚れている 振動子（メッシュ）に薬液が浸っていない 振動子（メッシュ）と薬液の間に気泡がある 電極部が汚れている 薬液ボトルが正しく装着されていない ※		清掃し、必要に応じ交換する
		本体を少し手前に傾ける
		静かに薬液ボトルをゆする
		医療用ガーゼで清掃する
		”カチッ”と音がして固定されているか確認

※「4-2. 薬液ボトルの取付け」参照

<注意>

- ・消耗部品（薬液ボトル、マウスピース、シリコンマスク、接続パイプ、薬液ボトルキャップ）については初期不良以外での返品・交換は出来ません。
- ・ご使用後の本体部の不良品返却の際はポリ袋に入れ、密封した状態で返却願います。
- 但し、感染を予防するため、極端に汚れた物、汚染された恐れのあるものは受付できません。ご了承ください。